

Take Free

全国のウインドサーファーをつなぐフリーペーパー

Wind NETWORK

vol.02

「南の島」ゲレンデガイド

沖縄本島・宮古島・小浜島・奄美大島・与論島
サイパン

FLY ANA WINDSURFING WORLD CUP

沖縄の海・沖縄の人



50th
沖縄本土復帰

沖縄の海

1972年5月15日に沖縄が本土復帰して今年で50年。日本本土が主権を回復したあとも、沖縄は戦後27年間アメリカの統治下に置かれていた。当時の沖縄の通貨はUSドル、車の通行は右側通行で、沖縄旅行にはパスポートが必要だった。しかし、昔々から変わらないのは息をのむほどに美しい海。そんな沖縄の海とウインドサーフィンの出会いは早かった。

ウインドサーフィンが日本で初めて浮かんだのは、奇しくも沖縄の本土復帰の年、東京江戸川だった。その翌年には、沖縄にウインドサーフィンが持ち込まれ、沖縄でのウインドサーフィンの歴史が始まった。

そして1975年、第2回ウインドサーファー全日本選手権が沖縄で開催された。台風の接近で強風が吹き荒れる中、地元の仲松選手が優勝。そのほか当真選手、伊佐選手といった沖縄選手団が活躍した。この全日本開催後、日本中でウインド人口が増加し、ロケーションとコンディションが整った沖縄は注目を浴びていた。

日本ウインドサーフィン協会は、開催地を沖縄の名護市に決め世界選手権の誘致活動を行っていた。

そして1981年10月、第8回ウインドサーファー世界選手権が開催された。優勝はマウイの帝王と呼ばれたマイク・ウォルツ。この年は、世界初のプロ大会として『第1回マウイグランプリ』が開催された年でもあり、84年のロスオリンピックに向けウインド界が非常に盛り上がっていた頃である。沖縄は県をあげてウインドサーファー世界選手権の話題一色となった。

この後も、沖縄ではさまざまなウインドの大会やイベントが開催され、寒い冬にも暖かな風が迎えてくれる。

沖縄の海は、昔も今もわれわれウインドサーファーに至福の時を与え続けてくれているのである。



世界選手権の開催記念ラベルのオリオンビールも発売。モデルはこの大会にも出場し、のちに日本ウインドサーフィン協会会長も務めた廣瀬健氏。



全日本学生ボードセーリング選手権開催地

オクマ プライベートビーチ & リゾート

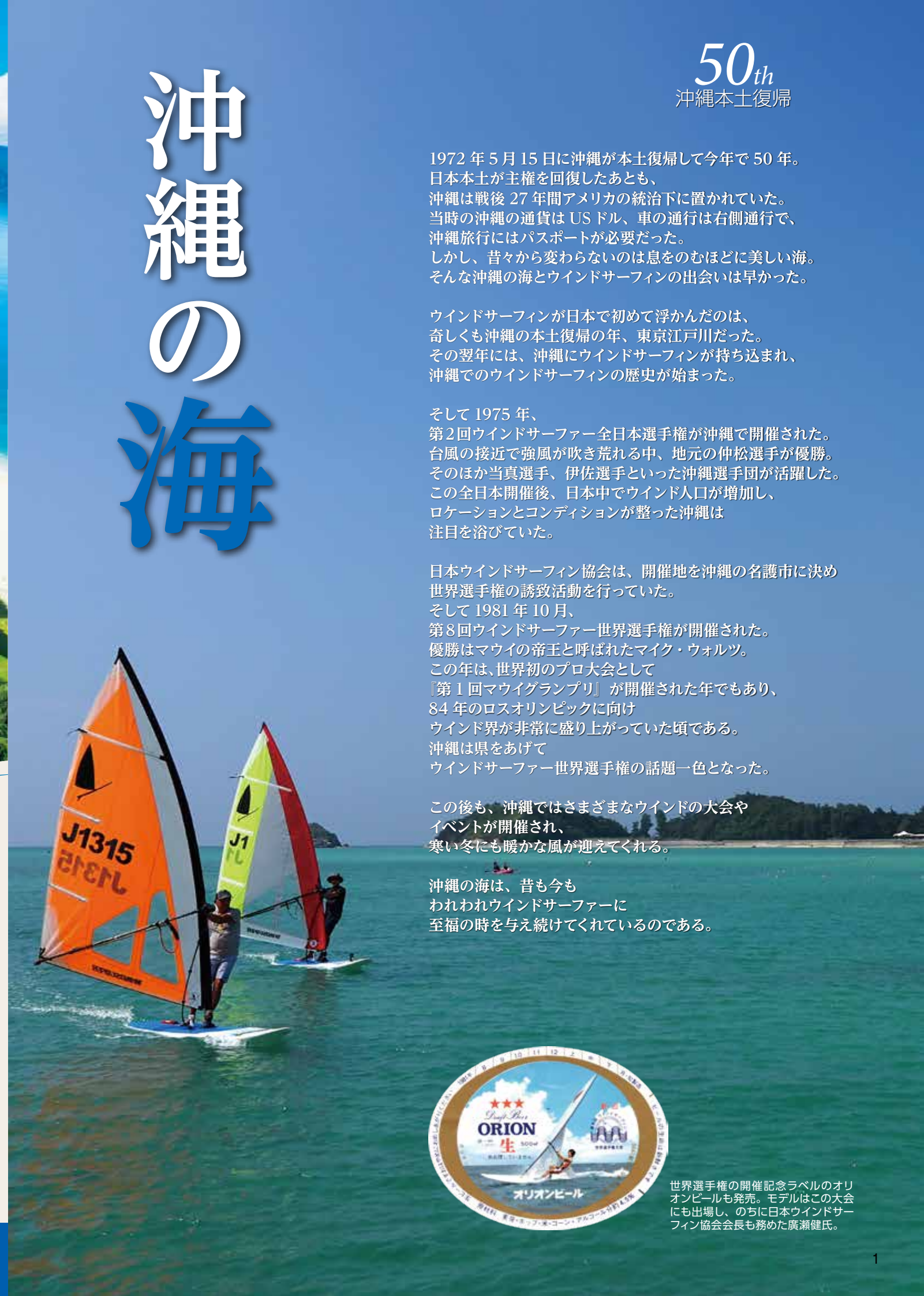
〒905-1412 沖縄県国頭郡国頭村字奥間 913

TEL : 0980-41-2222



ホームページ QR

オクマプライベートビーチ & リゾート



この人、そしてオクマリゾート皆さんがいたから 沖縄でウインドサーフィンが普及した

1978年31歳で地元のオクマリゾートに入社した小川氏は、翌年その当時国内でトップ選手だった比嘉氏、高良氏、崎浜氏などに手解きを受けウインドを始めた。すぐに20名ほどでオクマリゾートを結成。小川さんは会長となる。その当時のメンバー、糸満盛司さん、金城肇さん、宮城仁さんは現在オクマリゾートのスタッフとして、ウインドサーファーを暖かく迎えてくれている。

世界選手権の翌年、1982年にオクマリゾートで企画した「第1回オクマカップ」を開催した。第一回大会の優勝者は三木英樹氏。綺麗な沖縄の海でのレースは、全国のウインドサーファーの憧れとなり、沖縄=ウインドサーフィンのイメージを定着させた。

小川さんやオクマリゾートの付き合いから誘致した全日本学生選手権はもう20年以上続いており、学連セイラー

にとってオクマは甲子園のような存在になっている。この他、大々的なメーカー試乗会などこれまでに多くのイベントも実現してきた。すでに引退した小川さんだが、学生選手権当日には今でも招待され挨拶している。今後の夢を伺うと、ゆったりとした空気のリゾートレース「オクマカップ」を復活させたいと協力を求められた。学連OBやウインドを引退した人などもたくさん呼び戻したいとまだまだ意欲的だ。



小川 善溢 (おがわ よしみつ)
1947年12月8日生まれ
沖縄県国頭郡国頭村奥間在住
元オクマプライベートビーチ&リゾート副支配人
元オクマリゾート会長

沖縄の

interviewed by MITSUHARU NIJIMA

オクマに魅せられた二人は、移住を決めた！



25年前、大好きなオクマリゾートのすぐ横に家を建て移住してきたお二人は、1971年にご結婚され、1973年にウインドサーフィンに巡り合った。美也子さんはテレビにウインドサーフィンが映ったのを見て衝撃が走り、ポールさんに電話したところ、偶然にもお勤め先で見ていたのだという。美也子さんはすぐにそのテレビ局に連絡しウインドをしていた人の連絡先を聞いたそうだ。そして紹介してもらった人こそ日本にウインドサーフィンを広めた鈴木東英氏だった。翌週、三浦海岸でチャレンジさせてもらう約束を取り付け、すぐにウインドサーファー艇を注文したの

ポール 藤巻 (ぼーる ふじまき)
アメリカ大使館勤務時に偶然テレビで見てウインドの虜になる。奥様とワールドカップに通訳で参加87歳までウインドにハマっていた

藤巻 美也子 (ふじまき みよこ)
第2回全日本ウインドサーファー選手権(沖縄)優勝。日本ウインドサーフィン協会初代レディース委員長を務めクイーンズカップやひな祭りカップなどを企画。

は言うまでもない。ここからお二人の風まかせの人生が始まった！

すぐに頭角をあらわした美也子さんは沖縄で開催された全日本で優勝し、第2回から第7回までサーファーワールドにも出場。当時の第一人者だった。選手としての一線を退いた後も、お二人でセイリングを楽しんでいた。

月日は流れ、第二の人生を如何に楽しむのかを考えるようになったお二人「ハワイか沖縄どちらかにと考えた時、行き来のしやすさ、医療面から沖縄にすることにしました。私たちにとってハワイ同様よく通っていたオクマリゾートイコール沖縄だったの」

沖縄のウインドサーフィン発展に 大きく貢献した第二世代

沖縄のウインドサーファー第2世代として、沖縄のウインドサーフィンの発展に大きく貢献し、再び盛り上げようと野望を抱く島袋直人氏。1984年、大学2年の時にウインドサーフィンを見て「カッコ良さそう」とボードを手に入れ、自己流で一冬を越えた。その翌年、まだうまく乗れていなかった直人氏に合宿に来ていたプロチームTEAM WINDSURFERの選手の一人が近く

に寄ってきて「こうやって乗るんだよ！ガ〜んと引けよ！」と言残して、走り去っていったらしい。これが今でも心に残る最初のスクールだった。この選手こそ今回インタビュー新嶋だったのだとか！ 覚えていないのだが…

その後、全日本選手権へ出場し、350名あまりの選手の中、初のトップフィニッシュを飾り、総合13位。オクマカップで優勝！ さらに当時世界最大規模のサムタイムワールドカップに参戦するなど選手活動を本格的に始めた。そして選手としての活動のかたわら、沖縄のウインドサーフィン界発展のため、プロサーキットの「沖縄カップ」を開催。サーキットではなくなったものの今でも続いている。またレンタルボードでレースするカーチベイクアップは26回目を数える人気の大会だ。

人

何人もの全日本チャンプを輩出した沖縄を、 またカラフルなセイルで埋め尽くしたい！

手ぶらで行けて、いつでもウインドが楽しめる、ヨーロッパでは広く普及しているそんな場所を日本の南の島に



三木 英樹 (みき ひでき)
株式会社ウインドサーフィンジャパン社長
日本人プロ選手第1号。ウインド歴48年。
ウインドサーフィンの考案者であるホイール・シュウイツァーの他、マイク・ウォルツ、ロビー・ナッシュらとの交流を深め、1979年にハワイからカスタムボードを持ち込み、日本のウインドサーフィン界に大きな旋風を巻き起こした。

三木 愛子 (みき あいこ)
ウインドサーフィン歴46年
ロサンゼルス留学中にウインドを初める。日本に戻ってからは、藤巻美也子さんとちとレディースセイラーの拡大に尽力。水着メーカー(ラブキニ)を立ち上げ大ブームを巻き起こした。

最近は、移住者が増えてきてマリンスポーツをやる人が増えている。このチャンスを息子の海君とともに沖縄のウインド界を盛り上げるべく新たな仕掛けを画策中だ。



島袋 直人 (しまぶくろ なおと)
1967年1月7日生まれ
沖縄初のプロウインドサーファー。ウインドショップ&スクール「BLAHAV151」代表。

島袋 海 (しまぶくろ かい)
1992年6月22日生まれ
大阪に出て料理人をやっていたが、6年前に沖縄に戻ってきて父親と一緒にBLAHAV151を運営。

ンド界を知る唯一の日本人だった。そんな英樹氏が愛子さんと出会ったのは、共にUCパークレーでのELSサマーセッションに参加した1975年のこと。一緒にヨットに乗ったことがきっかけで1982年にめでたく結婚し、それから二人はさまざまな形でウインドサーフィンと関わり、発展に貢献してきた。

そんな二人の次の目標は、のんびりとウインドサーフィンを楽しめるツアーやレースの実現。それにはオクマが最適と活動を開始した。

「オクマの海にまたウインドがたくさん浮かぶようにしたいんだよ」。お話を伺っていると、近い将来そんな日がきつくと確信にも似た予感がした。



寒い冬は南の島へ

『南の島』ゲレンデガイド

寒さで海から足が遠のきがちな冬。

でも冬は最もコンスタントに季節風が吹く季節でもあります。

シーズンオフにするのはもったいない。

寒いのなら暖かいところに行けばいい。

風と太陽を求めて『南の島』へ

マニューバーライン×プリシアリゾートヨロン

冬の大試乗会 in ヨロン

世界トップブランド多数を扱う株式会社マニューバーラインが、日本列島が冬となり、海に入るのが億劫となる時期にあわせて、エメラルドグリーンの海に囲まれた南の島『与論島』で最新ウインドサーフィンギアから流行りのウイングサーフィンギアのテストライドイベントを開催します。

主催 プリシアリゾートヨロン
協力 株式会社マニューバーライン
開催日程 12月9日-20日(1-2月にも開催予定)
※詳細はSNSやショップにてご確認ください
場所 プリシアリゾートヨロンプライベートビーチ

常駐スタッフ



(株)マニューバーライン
西日本営業担当
岩井裕太

兵庫出身でウインドサーフィンショップでのインストラクター経験があり、寡黙ながらショップやユーザーの目線に沿った商品アドバイスが売りの営業マン。最近ではウイングサーフィンのスキルにも長けた営業マンとして目立つ存在となっている。

試乗会や宿泊などのお問い合わせ
プリシアリゾートヨロン 担当 伊佐
TEL 0997 97 5060



#1 OKUMA Beach オクマビーチ

沖縄本島

ちむどんどん(胸がわくわくする)するリゾートウインド満喫! ビーチ横のコテージに泊まって、最高の贅沢気分!

毎年11月に全日本学生選手権が開催されることから、学連セイラーにとって甲子園のような存在のオクマビーチ。白い砂に青い海、ウインドエリアも広く、波が入るとウェイブもできます。

<コンディション>

10月~4月のウインターシーズンは北の風が吹き、プレーニング確率が高くなる。

5月~9月は南から東の風。

北風は右からのクロスオフの風で海面はフラット。南風は左からのサイドショアで、強風になるとチョッピー海面になる。

<レンタル>

カテゴリ:スラローム、フリースタイル、フリースタイルウェーブ、ウェーブ

ブランド: Windsurfer L.T.、RRD

ボードサイズ: 60L~135L

セイルサイズ: 3.3㎡~7.8㎡

<アクセス>

那覇空港から車で約1時間30分。シャトルバスを毎日運行(要事前予約)。

ホテル(コテージ)からビーチまで1~2分。



結婚会場としても人気のオクマ プライベートビーチ & リゾート! 学連の皆さん、結婚は青春の思い出の地オクマでビーチウェディングはいかが?



私たちビーチスタッフがお待ちします。左から、溝口南帆、金城肇、松下えり奈。金城はかつてジャパンサーキットにも参戦していました。わからないことがあれば何でも聞いてください。

問い合わせ

オクマプライベートビーチ&リゾート

tel:0980-41-2222

e-mail:yoyaku@okumaresort.com



#2 SENAGAJIMA Beach 瀬長島海岸

沖縄本島

那覇空港、瀬長島ウミカジテラスもすぐそば! 遠浅ゲレンデ瀬名島

遠浅・おだやかな海面 初心者~中級者にも不安がない遊びやすいゲレンデです。冬の季節風は上級者にもスリリングなスピードセリングが楽しめます。

<コンディション>

10月~4月:北寄りの風 5m/s~12m/s

5月~7月:南寄りの風 4m/s~10m/s

8月~9月:東寄りの風 8m/s 未満

海面:強風時はチョッピー。うねりは無し。

<ショップ>

ビーチサイドにショップがあり即出艇できます。更衣室・シャワー・ロッカーあり。

周辺には観光施設が立ち並びウインドサーフィン、SUPのプロモーションになっています。

<レンタル>

ボード: PATRIK, FANATIC, TABOU,

GOYA, SIMMER (90L~145L/計25本)

セイル: LOFTSAILS, GA, GOYA, SIMMER

STYLE (4.0~8.4/計40枚)

<イベント>

1月 OKINAWA CUP

6月 カーチベーカー



オーナーの島袋親子と初体験の宇田川正美さん、20年ぶり高橋真美さん



10年前のサイパン以来の林敏広さん64歳

<アクセス>

那覇空港から車で10分。レンタカー以外でもタクシー・バスでアクセスが容易なため少し時間が空いたからというスタイルで海遊びするゲストも多数。

問い合わせ

BLAHAV151

tel:090-3794-3704

e-mail:blahav@ii-okinawa.ne.jp



#3 KAICHU-DORO

海中道路

沖縄本島

なんか、上手くなった気がする… 広くて乗りやすいゲレンデ!!

<コンディション>

夏：南～東風
冬：北風約7割 残りは南～東風
真冬の一番寒い時でもセミドライがあれば問題ありません。夏でも4～5m/sくらいは吹いています。

<イベント情報>11月26日(土) - 27日(日) ウィングfoil全日本選手権大会
<アクセス>那覇空港から車で約50分 レンタカーをご利用ください。

<レンタル>
ウィンド・ウィング・SUP ¥4,400～
foil付き ¥7,700～



<施設・アクティビティ>

同エリア内にマリッジットのアクティビティあり。
ロードパーク内 無料駐車場 300台
シャワー・トイレ・コインロッカー、飲食店数軒(屋外スペースはウエットのまま食事可)

ビジターさんの機材持ち込み OK ですがルール、マナーがありますので必ずひと声お掛けください。お待ちしております。

問い合わせ

ポポロポイント。

tel:090-9787-1006
mail:popolopoint@gmail.com



#6 CRATER Beach

クレータービーチ

奄美大島

“世界自然遺産” 奄美大島の北部クレーター湾は、 雄大で美しい自然に囲まれた珊瑚の湾です。

<コンディション>夏の南風はフラットで、ビギナーから上級者まで幅広いレベルの方に楽しんでいただけます。冬の北風は強風で中上級者やブランクのあるウィンドサーファーのトレーニングにも最適。大きな湾で三方向に海岸がありますので安全性は高いです。ただし、大潮の干潮時には浅くなり過ぎますのでご注意ください。真冬の1月、2月は3mmフルスーツ、11月、12月、3月、4月はシーガルでOK。水温は真冬でも20℃です。

<ロケーション>風待ちのクレータービーチには海亀が棲息し、SUP やシュノーケリングも楽しめます。



<その他アクティビティ>

sup: レンタル、体験
釣り船: 湾内ジギング、キャストイング
ダイビング(提携): シュノーケリング、スキンダイビング、体験ダイビング

ベストシーズンは梅雨明けのアラベ*。6月下旬から7月中旬は、対岸まで2キロをノンストップレーニングできます。*アラベ: 梅雨明け直後に吹く南風

問い合わせ

Maze 奄美

tel:090-4186-2395
mail:amami@maze-jp.com



#4 MAEHAMA&SANITSU Beach

前浜&サニツ

宮古島

前浜は fin から foil まで全潮位に対応! 足がつくサニツは初心者パラダイス!

ダイレクト便が1日数便あり島はコンパクトで渋滞も無く移動がとてもスムーズ。時間を無駄にせず、着いたらすぐに青い海で思いっきり楽しめます。西里大通りは沖縄料理はもちろん本格イタリアンや中華、宮古牛、多良間牛、bar などナイトも充実! 夜も飽きさせません!

<コンディション> 11月～2月: 8～15m/s、シーガル～フルスーツ / 3月～5月、10月: 6～9m/s、タッパー & トランク
<施設> 艇庫、クラブハウス、シャワー、仮眠所、ショップ(改装中)
<レンタル> ウィンドサーフィン各種 ¥6000～(要予約)



<イベント情報>

11月: 高校生体験会
11～12月上旬: IQ foil 合宿
1月下旬: IQ foil 合宿
2月: foil フェス

問い合わせ

宮古島ウィンドサーフィンクラブ

tel:090-1089-6171
mail:j20sugi@yahoo.co.jp



宮古島にはローカルルールがあります。事故やトラブルを防ぐためガイドサービスのご利用をおすすめします。

#7 KAIZOKU Beach

海族ビーチ

奄美大島

安心安全のゲレンデ 出艇、休憩に便利なビーチ

台風以外ほぼ心配無用の安全性・手ごろな広さの安心感そんな湾です。レスキューもポートと水上バイクで万全。微風時には、ウィンドの上達を望むなら新サーファー艇によるウィンドピクニックがお勧め。
奄美海族塾は、ほぼ全てのマリンスポーツが楽しめるのも特徴。湾内に奄美大島有数のシュノーケリングポイントもあり、ポートツアーも行っています。

<施設> 海まで0分。ほぼオンザビーチの施設。シャワー室、更衣室、駐車場、BBQ 小屋、ビーチ焚火台、ビーチ足湯を備えています。
<宿泊> HP 参照。



<レンタル> フリーライド、スラローム、新サーファー艇、ウエットスーツ(5mm)、ハーネス
<アクセス> 奄美空港から車で約10分。空港周辺にレンタカー多数。ご照会可。

これからの季節は、セミドライスーツとハーネスを持っての来島をおすすめします。

問い合わせ

奄美海族塾

tel:0997-63-2187
mail:kaizoku0@outlook.jp



#5 Twuma-ru Beach

トゥマールビーチ

小浜島

日本最南端の ウィンドサーフィンゲレンデ

<コンディション> 2016年～2018年まで3年連続でジャパンサーキットが開催された実績を持つビーチです。遠浅フラットコンディションでインサイドは足が届くため初中級者にも安心です。

冬はクロスオンショアになるため安心安全にお楽しみ頂けます。

<ロケーション> 石垣島からフェリーで30分の小浜島には、リゾートホテルや民宿などの宿泊施設、居酒屋、お食事処もございます。ウィンドサーフィンだけでなく、島時間を味わっていただけます。



<ショップ> 小浜港から車で5分、海の前で、温水コインシャワー、公共シャワー・トイレ・更衣室設備完備です。

真冬の12月でも平均最低温度16℃とフルスーツで1日中遊べる暖かさ。世界に誇る石西礁湖の海を思う存分お楽しみ頂けます。

問い合わせ

KOHAMA WINDSURF CLUB

tel:080 6492 1073
mail:tryandtry666@gmail.com



#8 OHKANEKU KAIGAN Beach

大金久海岸(百合ヶ浜)

与論島

元祖“手ぶらでプレーニングツアー” 風の島・与論

与論島は周囲23kmの隆起珊瑚でできた島。メインゲレンデの大金久海岸は与論島の東側に位置し白砂のビーチが続く。抜けるようなヨロブルーの海を沖合にある与論島のシンボル星の砂でできた百合ヶ浜に向かってのプレーニングは最高。リーフまで1.5km 有るため広くフラットな海面で安全にセイリングできます。そして、満潮時にはfoilも可能!

<コンディション> 11月から3月までレギュラーの北風～北東が左からのサイド、クロスオンで吹き抜ける。この時期は大金久海岸(百合ヶ浜)にウィンドサーフィン専用施設を構築マリンスタッフがお待ちしております。



<レンタル>
セイル: GA, セバーン, ニール, ナッシュ, リバティ
ボード: スターボード, JP, TABOU, FUTUR FLY
※今シーズンよりウィングfoilのレンタル、レッスンを実施

安全にも考慮し、万が一の漂流や海上でのトラブルに対処するためレスキュー艇を完備。何かあればすぐに駆けつけます。

問い合わせ

プリシアリゾートヨロン

tel:0997-97-5060
mail:marine@prichia.co.jp



#9 MICRO Beach
マイクロ・ビーチ

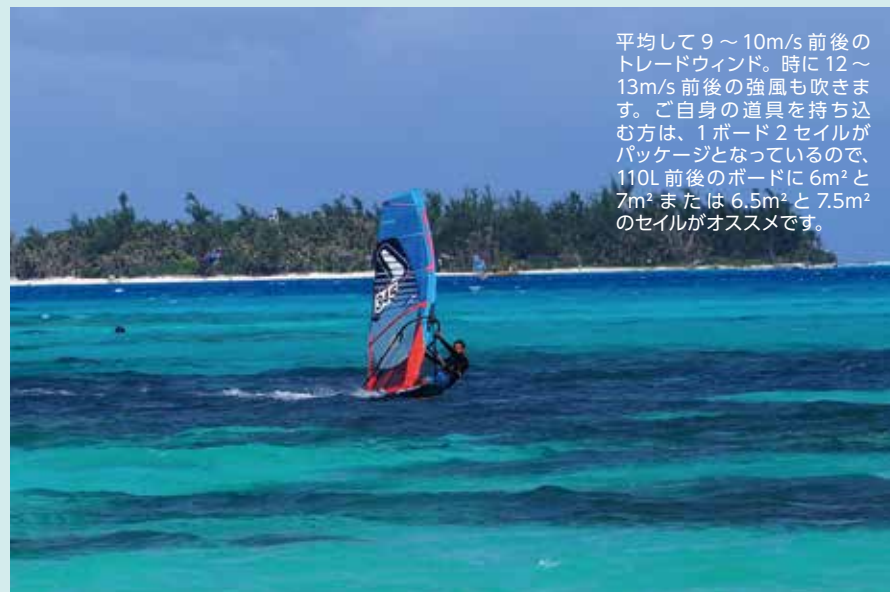
サイパン

約3時間のフライトで極上のスラローム天国！
平均水温は28℃！

サイパンのシーズンは11月～4月。シーズン中、毎年たくさんのショップがツアーを組んで訪れてくれるのには理由があります。ウネリの少ない平水面と沖でも足がつく安心感からビギナーでもビーチ間際から長い距離を走ることができ、ビーチスタートやウォータースタート練習にも最適。サイパンで初めてプレーニングしたという方が少なくありません。それでいてエキスパートも満足させる風。一度でも乗っていただければ、サイパンでの1週間は、日本での2カ月以上の練習になると言われる所以がわかっていただけるはず。また、サイパンといえば平水面のスラロームグレンデというイメージが強いかもしれませんが、ウネリもあるので、フ



シーウインドのGM 大野です。サイパンで困ったことがあったらなんでもご相談ください。レンタル器材は約40セットをご用意していますが、繁忙期には器材不足の可能性もありますので、希望の方はお早めにご予約下さい。サイパン空港～ショップ間のウインド器材送迎も行っております。



平均して9～10m/s 前後のトレードウィンド。時に12～13m/s 前後の強風も吹きます。ご自身の道具を持ち込む方は、1ボード2セイルがパッケージとなっているので、110L 前後のボードに6m²と7m²または6.5m²と7.5m²のセイルがオススメです。

リーススタイルも楽しめます。フリースタイル系のボードも多数用意しております。また、強風コンディション用にはウェイクボードもご用意しております。<ショップ・ビーチの施設など> ビーチハウスはハイアットリージェンシー・サイパン内。ガラパン地区の中心にあるDFS サイパンより徒歩で10分程度です。ショップでトイレとシャワーが利用可能です。ランチはデリバリーのお弁当を手配可能な他、徒歩圏内に水着でも入れるレストランがあります。風待ちには、SUP やシーカヤック、シュノーケルも可能です。<レンタル>NAISH と JP を中心に初心者から中級者向けのボードを20本、セイルを50枚ほど用意しています。レンタルされる方は、万が一の事故も想定して旅行者保険への加入をお勧めいたします。<宿泊>ハイアットリージェンシー・サイパンが、グレンデ直結で便利です。

ユナイテッド航空
成田⇄サイパン線
2022年9月就航



長期滞在向けホテルや格安ホテルの手配も可能です。お問い合わせください。

39th Micronesia Open



歴史あるウインドサーフィンレース、39回目のミクロネシア・オープンが3月に開催予定。この大会も楽しく盛り上がるレースへ原点回帰し、勝ち上がり方式でなく全参加者が同じ数だけレースを走ることが出来ます。レンタル器材での参加者も多数。また、コースは足の届く水深がほとんどなのでビギナーでも参加可能です。ウインドサーファーの皆さん、ぜひお気軽にご参加下さい。

- 参加費:\$100
- 日時:未定
- コース:ビーチスタートのスラローム(3～7マーク程度)
- 詳細:記念Tシャツ、ピブス、ディナーパーティー(表彰式)への出席が含まれます
- クラス:オープン、マスター、レディース

38th 記念Tシャツ (size:L) を抽選で3名様にプレゼント




【応募方法】
件名を「Tシャツ希望」とし、お名前と送付先住所、ウインドネットワークの感想を記載の上、巻末のメールアドレスまで送信してください。

問い合わせ
SEAWIND MARINE
SPORTS CLUB
mail:oono@saipanwind.com



ウインドサーフィンと出会って人生が変わった一般セーラーの半生を紹介します。

ウインドサーファーの履歴書 #001

なかむら あきら		
中村 明		
1935年(昭和10年)10月2日生(87歳)	男	
1955年4月	早稲田大学入学	ヨット部所属
1999年6月	64歳でウインド始める	
1999年11月	沖縄でウインド	
2000年2月	初めてのサイパン	
2005年10月	70歳でついにマウイへ	
2022年10月	87歳の誕生日翌日もセーリング	



私・新嶋には、尊敬するウインドサーファーが二人いる。一人はロビー・ナッシュ。そして、もう一人は中村さんだ。

中村さんは第2次世界大戦前に生まれ、戦後、早稲田大学に入学、ヨット部に入部した。途中で部は辞めたが、海への憧れが強く、50歳でモーターボートを購入。さらに、葉山でヨットをレンタルし石原裕次郎気取りで遊んでいた。

その後、60歳で会社を定年。64歳の時、雑誌でウインドサーフィンスクール広告を見たことをきっかけに、人生が変わった。

風を求める旅が始まる!

6月に始めたばかりのその年、まだ乗れもしないのに11月には沖縄ツアーに参加。「沈まくりだったけど、やっぱりウインドやってよかったなと思ったよ」とこの時、風を追い続ける第二の人生が始まった。

沖縄に続き、翌年2月にはサイパンツアーにも参加。それからコロナ禍が始まる2020年まで毎年サイパンを訪れた。

潮が引くと沖に現れる白い砂の浅瀬を指し「あそこは極楽浄土だよ、一休みするのが最高なんだ。サイパンはグレンデとホテルと街が隣り合わせでナイトプレーニングも最高だ」と笑う。夜はローカルにも人気のライブハウス『GOD FATHER』でエルビスプレスリーをリクエストしツイストを踊ってサイパンの1日が終わる。



中村さんのウインド仲間である川越さん(右)も65歳でウインドを初めて13年。釣りにウインド、テニスなど趣味で忙しい毎日を送っている。中村さんと一緒にサイパンツアーなどで各地の海を楽しんでいる。

ウインドの聖地マウイへ

70歳でウインドの聖地マウイツアーに初参加。カナハの風は中村さんに少し強い日が多いが、毎日が挑戦の人だから問題ない。2回目のマウイでは、4.0オーバーのサイドショアで、レッドブルカイトワールドカップが開催されていた会場へ流されロビー・ナッシュやピーター・カブリナとご対面!「あの時は行っちゃいけないと言われてたのに、セイルアップしてるうちに大会会場のど真ん中まで流されて、レスキューに、ヘイヘイと言ったら助けてくれたよ」。

若い人たちへ一言

海では若い人たちに囲まれ、話をすることで元気ももらっているのだから。そんな若者たちへ「遊ぶときは真剣に遊ぶ。歳とってからでは遅い。若い時にたくさん遊ぶことが年を取っても楽しめる秘訣!」とアドバイスする。

ウインドサーフィンとは?

「人生の楽園だね。年齢や性別に関係なく多くの人と時を過ごし、あっという間に22年。おかげで年齢を感じることもなく、元気に今がある。マウイ島のキヘイから出てハワイアンソングに出てくるカホオラウエ島に向かってプレーニングした時は夢のようだった」

ウインド歴23年目の今年も中村さんの風まかせ人生が続く!

(文:新嶋光晴)





Competitors REPORT Junior

photo by JUNTARO SUGI, KEIKO SUGI

(中央) 窪田 大雅

(左) 横尾 颯太

田口 理音

(右) 高橋 早太郎

野口 生喜

2022 ジュニアユースウインドサーフィン選手権

Date: Aug 20- Aug 21 2022 Location: 三保 / 静岡

今年で17回目を迎えた、ジュニアだけの日本一を決める大会。
選手は年齢別で小学生低学年から高校生までの5つとビギナークラスに分けられる。
種目はスラローム。最もシンプルなレース形式で勝敗を争う。

全国のジュニアウインドサーファーにとって、この大会は1年間の練習の成果を出す大舞台。8月末に行われるということもあり、夏休み中ウインドに明け暮れた日々の成果を試す2日間でもある。今年はかなりの微風レースで上級生にとっては物足りないコンディションとなったが、風待ち中は大騒ぎで海に飛び込み、レース中は必死にパンピングし、子どもたちの熱い気持ちに大人は思わずうろっときてしまう、そんな温かい雰囲気は健在だった。今年はコロナの影響が弱まったこともあり、私・金上颯大のほか、杉匠真、池照貴吾、

佐伯紗菜など、多くの卒業生が応援に駆けつけた。我々だけでなく、オリンピッククラスの池田健星、新嶋莉奈や、ウェイブの石井孝良・颯太兄弟など争々たるメンバーがこの大会のOB、OGだ。これまでもそうであったように、この大会で悔し涙を流した少年少女が数年後にはトップ選手として活躍しているかもしれない。そこで今回は大物になる予感がする5人をOB代表で厳選して紹介するのでぜひご注目を!

今大会の結果はこちら▶▶



reported by SOTA KANAGAMI



金上 颯大 JPN-16
2002年8月14日生
神奈川県出身。
所属: Severne/Starboard/RASH Wetsuits/Over Board/Seven Seas/ 明治学院大学
小学1年、初めての大会がこのジュニアユースウインドサーフィン選手権。この時フィニッシュできなかった悔しさから本格的に練習をスタート。中学からプロツアーに参加。高校最後のプロツアーで5位入賞しプロ登録。2020年度プロスラロームランキング4位。

JPN-16 SELECT

次にくるのは誰だ?
期待の超若手選手



杉 僚真

ウェーブ・フリースタイル
中学2年/ウインド歴7年/マリンプルー所属
杉家次男。弱冠中1で既に多くの優勝経験があり、ツウモノのオーラが全開。目標はウェーブ・フリースタイルの両種目でプロ登録。憧れの選手はブラウジーニョとマルシリオ・ブラウン。兄・匠真は憧れではなくライバル。御前崎で、石井兄弟vs杉兄弟の四つ巴の戦いが見られる日は近い?



小西 陽斗

ウェーブ・フリースタイル
中学2年/ウインド歴4年/マリンプルー所属
放課後、逗子の海でフリースタイルをメインに黙々と練習している。笑顔で先輩たちの背中を追う姿はとても気持ちが良い。目標はもちろんプロ登録。憧れの選手はジェイガー・ストーンと杉匠真。フリースタイルだけでなく他の種目でもそのセンスは光りまくっていて、実はコースレースも速い。そのため、最近では学連からも悲鳴が聞こえる。

高濱 奈菜

スラローム・IQ フォイル
小学6年/ウインド歴2年/85クラブジュニア所属
ウインド歴2年目ながら既にフォイリングジャイブも習得しているスーパー小学生。鈴木文子プロのスパルタ指導によって急成長中。検見川のハードなコンディションでも大人と同じセイルサイズを乗りこなし、フォイルスラロームでは早くもシニアの大会で入賞経験がある。可愛い笑顔の裏に潜む野望は、「打倒・佐伯紗菜」。



田中 響

スラローム・IQ フォイル
中学1年/ウインド歴3年/ジェムイン須磨所屬
初夏に開催されたTSUKASA JAPAN CUP オープンクラスで3位に入り、鮮烈デビューを果たしたのは記憶に新しい。目標はPWA 横須賀大会出場、そしていずれツアーを転戦すること。憧れの選手はロス・ウィリアムズ、ジュリアン・クエンテル。普段は静かな少年だが実は相当なウインドオタクで、マニアックな話になると急に元気になる。

中嶋 颯

スラローム・フォーミュラー
高校1年/ウインド歴7年/MRC ジュニア所屬
TSUKASA JAPAN CUP オープンクラスで優勝し、シニアの大会でもその実力を証明した。プロウインドサーファーである父・基さんはライバルでありセーリングパートナー。目標はスラローム、フォーミュラーの両方でプロとして活躍すること。まずアマスラ優勝。憧れの選手はジョーディ・ヴォンク、そして津久井浜の先輩プロたち。体重が増えてさらにスピードが進化する、予定。



Marine Blue Junior Windsurfing



活動場所: 神奈川県 逗子市 逗子海岸
逗子海岸周辺に自宅があり、市内の学校に通っているメンバーがほとんど。「ライフスタイルとしてのウインドサーフィン」をモットーとし、海のスポーツを楽しむことに全力を注ぐ。放課後にも練習できる環境が整っており、積極的に練習を重ねているため素のウインド力の高さは大人顔負け。

Omaezaki Windsurfing Club



活動場所: 静岡県 御前崎市 御前崎マリナーパーク
自由を重んじるのびのびとした雰囲気印象的。御前崎市内の学校に通い、部活と両立してウインドサーフィンに取り組むメンバーが多い。上級生は浜名湖で強風トレーニングを積み、ジェットなどのレスキュー体制を完全に整えた上で御前崎ロングビーチにチャレンジする。時間にはとても厳しい。

鎌倉 Jr ウインドサーフィングクラブ



活動場所: 神奈川県 鎌倉市 材木座海岸
個性豊かで、1番キャラが濃い! 各競技のトップ選手に囲まれ、競技色が強そうだが、年に2回の合宿をはじめ、様々なイベントを友達と楽しむ習い事としての側面も持つ。上級生になってレベルが上がると豪華な先生達の指導の元、自分の興味のある種目にチャレンジできる恵まれた環境だ。

MRC ジュニア



活動場所: 神奈川県 横須賀市 津久井浜
東京オリンピック代表の須長由季選手を校長として、横須賀ウインドサーフィアカデミーが発足。アカデミー卒業後そのままMRCジュニアに加入できるというコースが整った。今年はその1期生3人が参戦、現在2期生は6人おり、来年にはさらに大人数での参戦が期待される。

85クラブジュニア



活動場所: 千葉県 検見川浜
一般スクールに通っていた数名のキッズのためにジュニアクラスが設立されたのは昨年とのこと。鈴木コングプロ、鈴木文子プロ、田嶋航プロなど、現役プロが講師として指導し、楽しみながらも部活のように厳しくメリハリをつけてやっていく、というのがモットーである

ジェムイン須磨ジュニア



活動場所: 兵庫県 須磨海岸
レース種目を中心に活動するチームで、今回は3人での参戦。レースで活躍することを目指すメンバーと楽しむことを重視するメンバーとで半々くらいの割合となっていて、それぞれの楽しみ方に寄り添うスタンス。少人数だからこそできる指導方法で、個々のやりたいことをサポートしていく。

Road to Paris



iQ FOiLで戦うオリンピック

1984年のロサンゼルスオリンピックで初めてウインドサーフィンが採用されて以来、全選手が同じ道具を使用するワンデザインでダガー付きのボードが採用されてきた。パリオリンピックではiQ FOiLというフォイルボードが採用され、男子9m、女子8mのセイルで3m/s～15m/sくらいの風域をカバーすることになる。

フォイルは、その運動性能の高さからウインドサーフィンに導入されて以来、数年でレースシーンを一変させた。オリンピッククラスもiQ FOiLが採用されたことで、よりハイスピードで、よりスリリングなレース展開となっている。レースフォーマットも変更され、コースレースだけでなくスラロームも行われるようになった。そして、世界選手権など参加艇数の多い大会では、予選シリーズを行い、成績上位から「ゴールドフリート」「シルバーフリート」「ブロンズフリート」に分けられ決勝シリーズが行われる。そして「ゴールドフリート」の上位10名だけで最終日にメダルレースを行い、この成績のみでベスト10の順位が決定する。

パリオリンピックへのカウントダウン

パリオリンピックは、2024年7月26日から8月11日の日程で開催され

る！すでに開催まで2年を切り、日本においても選手の強化・育成はスタート。来年2023年からは代表選考会がスタートする。

オリンピックの代表は各国男女一人ずつ。しかもすべての国に出場権が与えられるわけではなく、「国枠」と呼ばれる日本から選手をオリンピックに派遣する権利を獲得しなければならない。「国枠」を獲得するためには、指定された国際大会における国別の順位、つまり各国の最上位の選手だけを抽出して順位をつけたときに、日本人最上位の選手が何位なのか問題になる。大会ごとに国別何位までと決められた順位に達した国から「国枠」獲得となり、男女とも24カ国がオリンピック出場の権利を得る。選手は、その上で自国の代表権を獲得しなければならない。

日本におけるオリンピック代表選考は、来年2023年から始まる。選考方法に関しては、12月に日本セーリング連盟から発表されることになっており、2023年に開催されるワールドカップやアジア大会など2～3大会の結果で選考されることが予想される。



具体的な選手選考は来年から始まるが、パリオリンピックを目指す選手たちの活動はすでに本格始動している。4月～5月は、多くの選手が遠征しヨーロッパチャンピオンシップなどの大会に参戦。そして10月にパリオリンピックの会場で開催された世界選手権に向け1カ月前から現地入りし調整を行った。この大会で2023年度のナショナルチームが選考されるため、今年最も重要な大会といえる。男女それぞれ出場選手の上位40%以上の成績を残した選手に2023年度の強化対象選手としてセーリングナショナルチームの一員となることが発表されていた。

新嶋莉奈がナショナルチーム入り

世界選手権には男子164名、女子102名がエントリー。弱いガスティーナなコンディションから始まり、最後は15m/sオーバーの爆風の中、男子14レース、女子15レースが行われた。この結果、女子の新嶋莉奈が、39位の成績を残しナショナルチーム入りを決めた。この大会、新嶋は自身初のゴールドフリートに進出。8、9レースは1上をシングルで回航。特に9レースは6位でフィニッシュしトップ選手と競り合うレースもあった。

男子最上位の池田健星は71位となりナショナルチーム入りをあと一步のところまで逃してしまった。

世界選手権を終え、ナショナルチーム入り 新嶋莉奈の現在地

世界選手権を終えて

まずはホッとしています。日本のセーリング連盟のナショナルチームの規定が上位40%以内だったので今年の世界選手権はそれを目標にしていました。目標を達成できて良かったです。

昨年と比べ何が変わりましたか？

去年の自分よりも体重、筋力、技術どれもとっても向上していると思います。しかしまだまだ世界のトップ選手に比べたら足りないと感じています。

ゴールドフリートで6位でフィニッシュしました

このレースは私が1番得意とする風域で、日本の男子選手と走ってもあまり劣らなかった経験もあるので走りには自信がありました。スタートが決まった瞬間にシングルでフィニッシュできる手応えを感じましたが、実際6位でフィニッシュした時はとても嬉しかったです。

これから安定してシングルに入るにはスタート練習、ダウンウインドの練習、もっと自分のスピードに自信を持つこ



新嶋選手の躍進を支えるコーチ 外園潤平が見る世界との距離



外園 潤平 (ほかぞの じゅんぺい)

2020東京オリンピックにヨット470級の選手として出場し7位入賞。ワールドカップでの優勝経験もありオリンピックでもメダル候補として期待されていた。東京オリンピック後は、コーチをしながら日本初の470とスナイプ両クラスの全日本チャンピオンにもなった。

今年に入り、2月～5月末にオリンピックを目指す選手たちはそれぞれヨーロッパに遠征をして技術強化、スピード強化をしてきました。上半期の集大成であるヨーロッパ選手権では、男子最上位の富沢選手が154艇中88位で57%、女子の新嶋選手が95艇中49位で51%でした。今回の世界選手権では、池田選手が43%、新嶋選手が38%でした。成績だけを見ると世界との壁はまだ厚く感じますが、大会を重ねるごとに良い瞬間が増えてきました。



新嶋 莉奈 (にいじま りな)

1999年11月13日生まれ / 神奈川県出身
慶應義塾大学卒業
所属：エリエール
スポンサー：YANAGIYA / 伊藤園 / オニール / SMITH / メダリスト / SevenSeas



と。自分はスピードがないと思い込んでしまっていたので、初めてのゴールドフリートで序盤は逃げのコースを引いていました。でもシングルを走れたことで自信を持つことの大切さを痛感したので、速い人との練習、大人数で走る経験を積むことができる環境を海外で整える必要があると感じています。

これからの目標、課題は？

次の大きな目標は来年の4月にスペインマヨルカ島で行われるプリンセスソフィアです。今回上位40%に入ることができたので、この大会では30%以内に入りたいです。そのためには、スタート練習、人と近いポジションにいる時のハンドリング、筋力アップ、体重アップがマストとなってくると思っています。

この間、池田健星選手は強豪国イスラエルに単身武者修行。そのほか男子の富澤慎選手、倉持大也選手、穴見知典選手、斎藤雄吾選手、女子は新嶋莉奈選手、須長由季選手、大西富士子選手、山辺美希選手、渡辺純菜選手などは世界選手権の1カ月前から現地フランスのプレストに行き、各国のコーチが協力して主催するコーチレガッタに2回出場して世界選手権のために調整してきました。

国枠取り、選考レースまで1年ありません。全選手が体重を増やしながらのトレーニングと集団での海上練習、そして海外選手との練習を少しでも多くやっていくことが重要となるでしょう。



プリンセスカップ 2022

Date: Aug 24 - Aug 26 2022 Location: 星越海岸 / 愛知県蒲郡市

『プリンセスカップ』は、1991年に第1回大会が開催された学連に加盟する女性セイラーだけが参加できる夏の一大イベント。今年も関東・関西・九州から165名の女子大生を集め開催されました。

今年は例年とは異なり「Be Aware ~ Daily with Oceans ~」というスローガンのもと、サステナブルな大会をコンセプトに賛同していただいた企業のサポートを得て開催しました。私たちは、普段練習や大会でペットボトルを持って出艇しますが、それを真夏の大会でやってしまうとペットボトルの消費量は計り知れません。その状況を少しでも改善したいという考えに賛同を得てスウィズボトルと、スポーツ飲料を協賛していただきました。大会会場にウォーターサーバーを用意することで、ペットボトルの削減に成功しまし

た。それ以外にも、宿泊施設にも協力していただきアメニティの設置をしないことや、全員でビーチクリーンも行いました。賞品もなるべくサステナブルなものを選びました。そしてレースだけでなくチーム対抗の運動会を行うなど、全国各地で活動をする選手が、地域や学年を超えて交流を深めることのできる良い大会となりました。

expert

- 1 神尾瑠夏 関東学院大学 / 4年
- 2 水野聖玲奈 上智大学 / 3年
- 3 岡朋加 明治大学 / 3年
- 4 金山りお 大阪大学 / 3年
- 5 内尾真弥子 早稲田大学 / 3年
- 6 菅原なな 慶應義塾大学 / 2年



スウィズボトルでペットボトルの消費を削減



大会3日目には全員でビーチクリーン

beginner

- 1 谷山叶佳 同志社大学 / 1年
- 2 関谷紀胡 京都大学 / 1年
- 3 早川沙羅 大阪大学 / 1年
- 4 ネルケ恵 大阪大学 / 1年
- 5 土方悠記子 神戸大学 / 1年
- 6 坂井伶名 明治大学 / 1年



大会実行委員長
井口穂佳 (青山学院大学3年)

大会開催にあたりご協賛いただいた企業様、各艇庫の皆様、ご協力いただいた海陽ヨットハーバー様、ホテル三河海陽閣様、ご参加いただきました選手、マネージャー、運営スタッフの皆様、本当にありがとうございました。実行委員長として大会運営を行うかたわら選手としてレースに参加しました。運営と選手の両視点から、「より良い大会にするためにどうしたら良いか」と試行錯誤する時間は有意義で、大変貴重な経験となりました。

本大会において参加者のみなには

ウインドサーフィン以外の何かを得てほしいという思いから、初の試みとして海にまつわる社会問題にアプローチしました。本大会をきっかけにみんなの今後の意識が少しでも良い方向に向かっていってくれたら大変嬉しいです。

大会当日はレースに加え、大会運営と休む間もなく動き続けた3日間でしたが、参加者みんなの笑顔や「楽しかった」という言葉を聞いたことが何よりも価値のある財産となりました。最高な夏の思い出です。Special thanks for the 激アツ summer in 2022!



水野聖玲奈
上智大学3年

【主な戦績】

- 2020年 鎌倉学生選手権ビギナー レディース5位
- 2021年 ジャパンカップ2年生 2位
- 2022年 中部選手権 レディース3位
- ドリームカップ レディース4位
- プリンセスカップ全体2位(3年以下1位)
- 関東支部予選 レディース2位

Q. 始めたきっかけは?

A. 元々サーフィンをやりたいと思っていたのですが(群馬県出身なので)、学内にはサーフィンをやれる団体はなく、体育会のウインドサーフィン部に入ることになりました。今ではほぼハマリです!

『プリンセスカップ』は、暑い中での大会が予想されていましたが、昨年よりも涼しく、初日は中風レースということで、体重の軽いレディースの選手にとっては絶好のコンディションとなりました。

2本の微風レースは個人的には苦しいレースとなりましたが、前を走る選手が風域ごとに変わり、どんな体格でも輝ける場所があるこのウインドの魅力が再発見しました。

また、選手には協賛企業様より全員

分のビブスをいただき、いつもと異なる大会仕様の格好に気分も上がりました。そして、関東・関西・九州という3支部が集まり、ここまで和気あいあいと交流できる機会は、11月に沖縄で開催されるインカレ個人戦以外には滅多にないので、今年も、学年の壁を越えた新たなつながりができて、インカレ個人戦での再会のために、ここでつけた課題に対して真剣に向き合い、練習をしなくてはと、モチベーションも上がっていました。



Q. ウインドの魅力は?

A. 1つの細かな動作がそのまま艇の動きに反映されるので、上手くなるために自分の動きを解析し、試行錯誤を重ねる日々は苦労も大きいですが、結果が出た時には本当に嬉しいです。沖に

出て広い海の中を自由に走れるのも、滅多にできることではないのでそれも魅力だと思います。

Q 目標は?

A. 上手いメンズとも戦える選手になることです。

OB 訪問 vol.2

学連時代に、ウインドサーフィンに青春を捧げた後、社会人として活躍しているOBOGを訪ねます。



村山智紀 さん

同志社大学 卒業
株式会社 SMBC 信託銀行 勤務

- 2016年 同志社大学法学部法律学科 入学
- 2021年 国体ウインドサーフィン級 兵庫県
- 2022年 同志社大学ボードセイリング部 コーチ

▶大学時代をウインドサーフィンに注いで得たものは何ですか?

あまりに多く一言では言い表せません。大会で入賞した喜びや予選に落ちた挫折、50人を超えるチームを運営した経験、嬉しいことも悲しい事も共に乗り越えた同期との絆、慕ってくれる後輩...

普通の学生生活では絶対に味わうことのできない濃密な4年間を過ごすことができました。そのすべてが私のかけがえない財産です。

▶後輩に一言。

このスポーツを全力で楽しみ、高み

を目指してください。社会人になると、一つの事に時間を使い熱中することはなかなかできません。こんなにも熱中できるのは、大学4年間だけです。結果が出ず苦しい時や、学業と部活の両立が難しい時もあると思いますが、その挫折や努力は必ず将来役にたちます。全ての経験が社会人になるための準備と捉えて乗り越えていってください。そして、ウインドを頑張る学生の皆さんを微力ながらサポートできれば幸いです。

では皆さん、いつかまたどこかの海でお会いしましょう!

Competitors REPORT Wave

interviewed by YUSHI SHIRAKATA
photo by Carter / pwaorldtour.com

杉匠真と石井颯太の二人がまた世界でぶちかました！
杉匠真は Mercedes-Benz Windsurfing World Cup SYLT で Wave9 位、Freestyle9 位、Supersession 優勝という成績を残し、wave 年間ランキング 10 位という日本人史上最高位を獲得。石井颯太は、ペルーで開催された『IWT Pacasmayo Classic』で 2 位。そして IWT ユース年間チャンピオンとなった。白方優吏が、二人に話を聞いた。

白方：大会中メンタリティはどうだった？

杉：大会期間中は、常に緊張してるわけでもなく、レイデイは一緒に行ったタカラと共に海外選手と交流したり、リラックスできていた。早朝からヒートを待っている日も気が張っている時と張っていない時とメリハリがありましたね。

白方：シングルイルミネーションの感想は？

杉：ポートの 16m/s くらいでかなりのハードコンディションだった。想像を絶する重くて分厚い波、落ちたら 100m くらいカレントに流される上、300m 沖に潮が引いてる時にだけ出てくるテトラ

ポッド。一回戦勝ち上がったけど、終始怖かったです。

白方：スーパーセッション。ヤバイね。オンショアロゴハイのライトウインドだったみたいだけ？

杉：ヤバイ(笑)。5.0/84L の最大セットだったんだけど、プアーなコンディションは逗子で良く乗っているし、とにかく 1 番ジャンプして、コンディションを最大限に楽しめた気がする。2 位がワールドチャンピオンのブラウジーニョだったんだけど、ジャッジに「ダントツだった」って言われて最高に嬉しかったし、自信ができましたね。

白方：メインとスーパーセッションでの

メンタリティの違いと、海外選手と自分を比べた時に何を感じた？

杉：まずシングルとスーパーセッションの違いは、一番大きいのはコンディションかな、誰も得意といえる人がいない状況で「いける」って思っていたんだけど、シングルは恐怖心が勝った。海外選手との違いは感じなくて、ライトウインドでは自分が有利だと思っているから、自分に集中する事ができてた。唯一感じたことは、日本のコンディションはオールラウンドだから波がない時はフリスタ、ある時はウエイブってやっていて、コンディションがカチッと決まってない時も“いけるな”って思いましたね。

Hayata Ishii

ペルーの 1km 以上続くスウェルに独特のフロー感のあるハヤタのラインが刻まれた。世界のゴツイメンバーとやりあって 2 位。その後のアロハクラシックでもユースクラス優勝。3 戦全勝で IWT ユース年間チャンピオンに！

白方：ユースの年間チャンプになった感想は？

石井：自分のライディングが世界に通用してきているという実感があってとても嬉しいです。でも、この結果に満足せずプロメンズクラスでも結果を残していきたいと思っています。

白方：シニアとの戦いで足りないところはどこだと思う？

石井：先日のアロハクラシックでは、特にライディングのパワフルさや経験が足りないと感じました。

白方：次の目標は？

石井：2 月にカーボベルデで行われる PWA 主催の大会でファイナルまで残りたいです。とにかく今は次の大会に向けトレーニングを積んでいます。



Competitors REPORT Slalom/Foil FW

JWA JAPAN PROTOUR 2022-23 SLALOM #1

TSUKASA JAPAN CUP 2022

Date: Jun 24 - Jun 26 2022 Location: 倉崎海岸 / 奄美大島
特別協賛: 司企業株式会社

昨シーズンはコロナ禍で延期となり 2022 年度の初戦として 6 月にスラロームフィンクラス、スラロームフォイルクラスを設定し開催。

コロナ禍で式典の縮小、地元との交流パーティー中止など制限があったが、会場となった奄美市龍郷町倉崎海岸は 34℃ を超える気温の中、60 名ほどの選手たちがコロナ禍をぶっ飛ばすような走りで行われたレースが展開された。その模様はライブ配信された。



浅野則夫
フィンとフォイルの二つのカテゴリーで勝てたことは良かったと思っています。腰の調子もあってフォイルクラスには出るか迷っていたのですが、結果的に出てよかったと思います。若手の頑張りが出るフォイルにおいて僕が勝つことはおじさん達の希望の光になったと思います。



山辺美希
フォイルクラスでは、ブローではオーバー、抜けると止まってしまうリスクのある、風の強弱が激しい海面で道具の選択が重要でした。今回は iQFoil + 8.0 の男子に負けず劣らずの強気セットでレースに臨みましたが、iQ のボードには普段から乗り慣れている自信と、どの風域でもレースしている経験から、安定したレースができました。



reported by Daisuke Ikoma

生駒 大輔
1978 年 12 月 14 日生 神奈川県出身。
所属: SevenSeas/NEILPRYDE/JP/ 福澤クリニック/OverBoard/BREAKER OUT/ パワーライフスタジオ

JWA PRO Men

Rank	Name (Sail No.)	Belongs	1R	2R	3R	Total
1	浅野 則夫 (25)	S2maui/FMX Racing/Phantom	1.0	1.0	1.0	3.0
2	生駒 大輔 (21)	SevenSeas/Neilpryde/JP	2.0	3.0	6.0	11.0
3	穴見 知典 (60)	Lightec/Starboard/ ゆうこうマリン(株)	4.0	5.0	2.0	11.0
4	国枝 信哉 (22)	Loftsails/TEARS/MRC	7.0	2.0	5.0	14.0
5	合志 明倫 (1)	POINT7/Future Fly/Lightec	3.0	8.0	3.0	14.0
6	中井 忠則 (121)	福澤クリニック/Goya/Mystic	9.0	4.0	4.0	17.0

JWA PRO Women

Rank	Name (Sail No.)	Belongs	1R	2R	3R	Total
1	須長 由季 (470)	(株) ミキハウス /Tears/M.R.C	2.0	1.0	1.0	4.0
2	穴山 未生 (311)	S2maui/FMX Racing/Tears	1.0	3.0	2.0	6.0
3	大西 富士子 (94)	榎マル電池 /Fareast/Point7	3.0	2.0	3.0	8.0

Open Men

Rank	Name (Sail No.)	Belongs	1R	2R	3R	Total
1	中嶋 颯 (4501)	逗子開成高校 /tears/M.R.C.jr	3.0	1.0	1.0	5.0
2	田淵 雅基 (97)	Spooky/Busca Fin/ 関西レジャー	1.0	2.0	2.0	5.0
3	田中 響 (600)	ジェムイン須磨 / 神戸市立鷹取中学校	2.0	4.0	4.0	10.0

Open Women

Rank	Name (Sail No.)	Belongs	1R	2R	3R	Total
1	石井 有夏 (774)	Sevenses/Neilpryde/Starboard	1.0	2.0	1.0	4.0

FOIL SLALOM Men

Rank	Name (Sail No.)	Belongs	1R	2R	3R	4R	Total
1	浅野 則夫 (25)	S2maui/FMX Racing/Phantom	3.0	1.0	2.0	2.0	5.0
2	穴見 知典 (60)	Lightec/Starboard/ ゆうこうマリン(株)	2.0	2.0	1.0	6.0	5.0
3	田島 航 (75)	RRD/85CLUB/ アミノパルタ	4.0	6.0	3.0	1.0	8.0
4	金上 颯大 (16)	Severne/Starboard/RASH Wetsuits	6.0	3.0	5.0	5.0	13.0
5	生駒 大輔 (21)	Sevenses/Neilpryde/JP	7.0	4.0	7.0	3.0	15.0
6	小玉 欣一 (99)	葉山サーフクラブ	10.0	5.0	6.0	4.0	15.0

FOIL SLALOM Women

Rank	Name (Sail No.)	Belongs	1R	2R	3R	4R	Total
1	山辺 美希 (31)	(株) サガミ /Starboard/Severne	2.0	2.0	2.0	2.0	6.0
2	須長 由季 (470)	(株) ミキハウス /Tears/M.R.C	6.0	4.0	1.0	1.0	6.0
3	穴山 未生 (311)	S2maui/FMX Racing/Tears	1.0	3.0	3.0	3.0	7.0

JWA JAPAN PROTOUR FOILFORMULA 2022 ランキング決定！

2 月・宮古島、6 月・蒲郡、7 月・津久井浜、9 月・浜名湖で 4 戦(1 戦 cut) が行われ、富沢慎と新嶋莉奈がランキングトップに立った。パリオリンピックからフォイルボード採用されたことで、オリンピック強化メンバーが参戦するようになり、さらに熾烈な戦いになってきた。

JWA JAPAN TOUR 2022 FOIL FW RANKING - Men

Rank	Name (Sail No.)	Belongs	宮古島	蒲郡	津久井浜	浜名湖	Total
1	富沢 慎 (11)	トヨタ自動車東日本(株)	2067	2100	2100	2100	6300
2	国枝 信哉 (22)	Loftsails/Tears/M.R.C	1935	2067	0	2067	6069
3	齋藤 雄悟 (1151)	同志社大学 / かんとりーは一ぱー	0	2034	2001	2034	6069
4	金上 颯大 (16)	Severne/Starboard/RASH Wetsuits	1968	1935	1935	2001	5904
5	賀来 耕一郎 (28)	Severne/Starboard/Shallowreef	1770	1968	1836	1902	5706
6	山田 昭彦 (67)	Fanatic/Duotone/Prolimit	1836	1869	0	1968	5673

JWA JAPAN TOUR 2022 FOIL FW RANKING - Women

Rank	Name (Sail No.)	Belongs	宮古島	蒲郡	津久井浜	浜名湖	Total
1	新嶋 莉奈 (4)	エリエール	2100	2100	2100	2100	6300
2	小嶺 恵美 (72)	FS エンジニアリング /Airtight	2034	2067	2001	2067	6168
3	山辺 美希 (31)	榎サガミ	1968	2034	2067	2034	6135

サーファー艇、ミミより情報

ウインドサーファー艇がリニューアルされて4年。往年のセイラーたちが今、古き良き時代を懐かしみ、次々と海に戻ってきている。そのうちの1人、2021年11月に江ノ島で開催されたウインドサーファークラスの全日本選手権で、見事男子優勝に輝いた作野達雄選手に、私(ミミ)がお話を伺いました。

作野さんは、島根県松江市に住み、休日は車で10分ほどの宍道湖畔にあるクラブハウスへ行き、ボードと張りっぱなしのセイルを持ち出し、目の前の砂浜から出艇。宍道湖は東西15km、南北6kmと比較的広く、西風が吹くと20km先の出雲空港、東風の時は5km先の嫁ヶ浜を目標に1人でセーリングし、ボードやセイルトリムの調整、風の変化を感じたり、スピードや時間計測など工夫して練習しているという。

ウインドを始めたのは1986年、隣県に「スカラップ鳥取」というフリートがあり、友達の紹介で入会。すぐにサーファー艇を購入し、当時の先輩たちに誘われて岡山県の渋川海岸で開催されたレースに初参加したが、風が弱くて潮に流されフィニッシュできなかった。その後、年間10~15大会と本格的にレースに臨み、全日本選手権、世界選手権にも4回出場した(1991南アフリカ、1993イタリア、1994オーストラリア、1995フィジー)。一方で進化の途中にあったウインドサーフィンは、次第にスピードの早いレースボードが主流となり、作野さんも時代の流れでしばらくはサーファー艇から遠ざかった。しかし、ここ何年かで、ヨーロッパやオーストラリアなどの往年のセイラー達がサーファー艇に乗りだし、再びレース活動も盛んになってきている。国内では過去に学連公式艇だったこともあり、学連OBセイラーや、ウインドサーファー艇を懐かしむ往年のプロ選手らも復活してきて、徐々に盛り上がりを見せ

ている。そんな中、作野さんも2020年からサーファー艇のレースに復帰し、江ノ島で開催された全日本選手権にもサーファー艇を車に積んで、はるばる島根県から遠征してきたのだ。海上では、かつて活躍された大先輩選手らと熱く真剣勝負し、レースの合間には時を重ねた人生や懐かしい話で盛り上がり、そこには20世紀には想像もできなかった稀有な時間があった。

作野さんは今年6月の湘南選手権(鎌倉)、8月の伊勢湾カップ(新舞子)と、クラス別男子優勝を獲得したのち、8月27-28日に地元クラブの協力のもと第1回宍道湖合宿を開催した。

合宿には西日本を中心に全国からサーファー艇愛好者が集まり、昼間は風速4~8m/sと絶好のコンディションの中、上下のパンピングなしでのレース方式で技術を磨いた。練習後には、美味しい島根の地元料理に舌鼓を打ちながらウインドトークと、充実した大人の合宿は楽しく盛り上がったという。



宍道湖合宿でのスナップ。

reported by MIE TOYOOKA

豊岡 美枝

(旧姓:田嶋 / 愛称:ミミ)
1968年12月生
東京都出身。

1984年15歳でウインドサーフィンに出会う。17歳で、当時史上最年少でウインドサーファークラス全日本選手権優勝。20歳でJOC強化指定選手としてオリンピック艇種で世界転戦をはじめ、1990年の北京、1994年の広島で開催されたアジア競技大会に日本代表として出場し入賞。1996年イタリアで行われたウインドサーファークラス世界選手権で優勝。2000年~2003年の間、東京都代表として国体に出場。その後、出産・育児を経て2018年、サーファー艇で選手活動を再開。現在は選手活動の傍ら、日本ウインドサーフィン協会の理事としてウインドサーフィンの普及、発展に務める。



作野さんに、サーファー艇の魅力について尋ねると、「ボードは366cm、230Lと大きく安定し、セイルは5.7m²と比較的小さくカムがないので、軽くて大変取り扱いやすいです。スピードは他の艇種と比べたら遅いかもかもしれませんが、風の変化に敏感で微風域から楽しめます。皆同じ大きさの道具を使うので、上手な人も久しぶりの人も、誰にでも前を走れるチャンスがあります。微風域では女子が前を走ることもありますよ。レース以外では穏やかな日に景色を眺めながら、のんびり楽しく乗れるのもいいですね。サーファー艇は、昔レースに情熱を注いでいた頃の自分を思い出させてくれる魔法のボードかもしれません。皆さん、是非もう一度サーファー艇と一緒に楽しみませんか?」と、楽しそうに話してくれた。

2022 Windsurfer World championships

Date: Oct 3 - Oct 9 2022 Location: Palermo/Italy

イタリア・シシリア島のパレルモで3年ぶりにウインドサーファーワールドが開催された。なんと世界各国から347名の選手が参加し、史上最大規模!種目はコースレース、スラローム、ロングディスタンス、フリースタイルで、全てワンデザインで競われた。

昨年、足首を複雑骨折し未だ抜釘前でボルトが5本入っており、一年間八の字パンピングをやっていなかったら、全く漕げず…。8レース行われたメインイベントのコースレースでは、伊仏豪のトップ艇を真似て終盤ようやく12位。下りポートスタートが決まり、一上3位で10位フィニッシュと徐々に良くなり、ブラックフラッグが掲揚された最終レースも下りスタートで7位と念願のシングルと思いきや、、、スタート前ポートから突っ込まれた際に若干ラインを出たらしく、BFDで失格。久しぶりの海外プロテスト、判決は「ポート艇は当該レースDSQ。でもカットし総合トップ。スタボード艇は救済する前にブラックに引っ掛かりBFD」と伊語の後、英語の通訳で



新艇のチャーター艇が用意され、ほとんどの選手が手ぶらで参加した。

煙に巻かれたように失格。これがなかりせればOverallシングルに入れていたので悔しいが、来年末のワールドは、かつての赴任先だったパースだし、ぜひリベンジを図りたい。

さて、優勝争いは、84年ロス覇者Stephan Van den verg (オランダ)と2000年シドニー覇者Christoph Sieber (オーストリア)のミディアムライトBカテゴリーは、Stephanがトップで軍配。3度の五輪出場を経て今やイタリアの英雄であるRiccardo Giordano (イタリア)は、Dカテゴリー(Ultra Heavy)でコースレース1位、ロングディスタンス1位、スラローム3位と圧巻の総合優勝! 彼とは、プレストのユニバーシアードと仏ミストラルワールドで戦ったこともあるが、当時まだ法曹界を目指す学生だった。女子は、イタリアのLaura Linaresが全種目圧勝した。

大会期間中は、毎晩パーティーがあり夜も楽しく盛り上がった。表彰式中にストームがあり、中断して狭いクラブハ



今大会のレポートをしてくれた蜂谷選手(左)と、もう一人日本から参加の真田選手(左)。真田中は地元シシリア島の選手で映画監督のFabioさん。

ウスに100人近く避難するもドラムの演奏と共に大盛り上がり、その時もまた沖縄で強風下サーファー艇でかっとなびたい!との声も多かったことを申し添えます♪

今回は2023年12月28日~24年1月3日オーストラリアのパースで開催、チームジャパンを編成して皆で参加したい!!



今大会の結果はこちら▶▶



347名の選手全員が一斉にスタートしたロングディスタンス。海面が華やかなセイルで埋め尽くされた。

OVERBOARD

大石 綾 Aya Ohishi

1980年東京生まれ。学生時代にウインドサーフィンと出会う。所属する鎌倉セブンスーズでインストラクターをするかわり、雑誌・TV等でモデル・タレントとしても活動。OVERBOARDを始め各メーカーのアンバサダーとしても活動。2人の娘を育てながら、家族でウインドサーフィンやSUPなどを国内外で楽しむ。2022年10月、大好きな鎌倉材木座でペーカリーカフェ「KAZEMACHIYA」をオープン。

デザインもカラーもお気に入りのアイテムです。ウエットスーツが丸々入る大容量は海はもちろん、荷物が多くなった買い出しでも大活躍。2泊3日の旅行にもこれ1つで行っちゃいます。普段はコンパクトにもまとめられて使い勝手よし!

【使用アイテム】
プロビスバック30L
HVイエロー

< 移転しました >

株式会社ウインドサーフィンジャパン
add: 沖縄県国頭郡国頭村鏡地310番地
tel: 0980-43-7967 fax: 0980-43-7968
mail: customer@windsurfing-japan.com



ANA ウィンドサーフィンワールドカップ

reported by YUJI WAKIMOTO
photo by Carter / pwaworldtour.com



Turning Point

FOIL vs FIN 決着!

3年ぶりに日本に戻ってきたワールドカップは、スラロームの新たな時代の始まりを世界に宣言する大会となった!!

昨年、イスラエルで開催されたワールドカップでニコラス・ゴヤード(F-465)がFOILを駆り、センセーショナルな勝利を収めてから、レースシーンは急速にFOIL化が進んだ。しかし、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響で大会が少なく、世界のトップ選手ですら道具のチョイスは手探りの状態が続いている中で、2022年PWAワールドツアーの最終戦となる「ANA ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」が開催された。

結論から言うと、おそらく来年以降に行われるPWAのスラロームでトップ選手がフィンを選択することはないだ

今大会を象徴するFIN vs FOILの対決。ファーストマークはFINが制することが多い。FINを選択したトップランカーのジョディ・ヴォンク(NED-69)は、66km/hを超えるスピードでアプローチするシーンもあったが、ファイナル進出はならず。



ろう。もちろんルールが変わらなければだが! FOILがライトウインドで速いのは既定の事実、しかし強風ではまだ考え方が別れており、それは今大会の各選手の道具の選択に現れていた。そんな中で行われた今大会は、ライトウインドから強風まで毎日風が吹いた。注目すべきは大会4日目、30knotオーバーで行われた第4レースだろう。何人かの選手に話を聞くとFINとFOILの境目は風速25knotと話していた。しかしそれ以上の風速でもFOILが速いと考えていた選手は少なくなかった。マテオ・イアチノ(ITA-140)やピエール・モーテフォン(F-14)など、世界のトップランカーがFINを選択する一方で、エンリコ・マロッチェ(CRO-401)やニコラスなどは、はなからFIN用のボードを持たずに来日し、FOILの速さを結果で示した。マテオやピエールがファイナルにすら残れないレース展開は、まさに歴史が変わった瞬間と言っていいだろう。これで選手の考え方もメーカーの開発方針も変わるはずだ。

日本人選手に目を向けると、3年ぶりの国際大会は、日本のトッププロで



大会会場となった津久井浜を埋め尽くすセイル。風に恵まれワールドカップ会場にふさわしいグレンデであることを世界に認識させた。

すらあまりにも情報不足で苦戦を余儀なくされた。日本の絶対王者・浅野則夫(JPN25)も「FOILのセッティングなど方向性は間違っていなかったが、情報が少しだけ遅れていた」と後悔をにじませる。一方で、第1レースでは穴見賢太(JPN6)がベスト16へと進み、新嶋莉奈(JPN4)は5位でフィニッシュし、度肝を抜いた。最終成績は、穴見知典(JPN60)が日本人最高の26位、穴見賢太が30位、金上颯夫(JPN16)が31位と浅野より上位となるなど若手の躍動が印象に残った。女子では新嶋が9位。不運の沈がなければ、4位前後のリザルトになっていただけに残念だが、今後が楽しみだ。

こうして2022年ワールドツアーの最終戦となった「ANA ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」は、風に恵まれ、FINからFOILへとPWAのスラローム競技の転換を世界に配信する大会となった。



大会の様相やリザルトはこちら ▶▶

Slalom Men 1st



Enrico Marotti (CRO-401)

Age: 31 / Croatia / Boards: JP / Sails: NeilPryde

PWA初勝利「めちゃくちゃ気分がいい」

微風から強風までいろいろなコンディションのレースで、これまで自分の練習してきたこと、そして自分のスピードを信じて、9.0,7.8,6.6の3枚のセイルで勝負し、優勝することができた。PWAに初めて参戦したのは2012年、翌年からツアーに参加するようになって、初めての優勝「めちゃくちゃ気分がいい」。毎日、風があったことに感謝し、この大会が何年も続くことを期待します。

Slalom Women 1st / Overall Ranking Slalom Women



Marion Morteфон (FRA-118)

Age: 30 / France / Boards: Fanatic / Sails: Duotone

あらゆるコンディションのレースで成績を残せた!

FOILもFINも好きで、将来的にはFOILになっていくだろうけど、今回は吹いたレースでフィンで楽しくレースができてよかった。最近はいQ FOILの大会にも出場し、オリンピックも目指している。以前、この大会に出場したときは5月で海藻が多かったのを覚えている。今回は良い風が吹いてよかった。日本のセイラーは、ライトウインドがとっても速くてびっくりした。

OVERALL RANKING SLALOM MEN



Maciek Rutkowski (POL-23)

Age: 30 / Poland / Boards: FMX Racing / Sails: Challenger Sails

年間優勝できるなんて思っていなかった!

前大会のシルトとは違い、自分が想定していたコンディションと大きく異なり、道具の選択に最後まで迷ったし、わからなかった。最初はいいフィーリングだったけど、最終日に自分のメンタルが壊れちゃった。吹いた日の最初はフィンで出て、その他はフォイルで勝負した。いくつかのミスで3位入賞はできなかったが、初めて年間ランキングのチャンピオンになれて幸せだ。

Slalom Women 9th



新嶋 莉奈 (JPN-4)

Age: 23 / JAPAN / Belongs: エリエール

賞金をとれるチャンスがあったのに悔しい

微風から超強風のレースが行われて、どの風も思ったよりも前を走れた。道具の調整がほとんどできていなかったのも、どんな結果になるか不安だったが、9位を取れたことで安心した。でも、リコールと予想してなかった沈を2回してしまっただけで、そこはとて悔しい。この経験はIQフォイルに生きてくと思うので出場できてよかった。IQフォイルでももっと前を走れるように頑張りたい。

アントワン・アルポー引退!

新たな時代の幕開けを予感させる大会で、一つの時代が幕を降ろした!

大会前、センセーショナルなニュースが飛び込んできた。アントワン・アルポーが、自身のSNSでこの大会を最後に引退することを発表したのだ。

アントワンは、1992年からPWAのツアーに参戦し、当時世界最大規模の大会だった御前崎のサムタイムワールドカップで初来日。以来30年で25回ワールドタイトルを獲得し、近年、スラロームのコンペティションの中心に居続けたレジェンドだ。

最後の大会は、抜群のスピードで強風時にはトップ争いを演じていたが、ジャイブが安

定を欠いている印象で本人も満足な成績を残すことはできなかったと語っている。しかしこの2年間、コロナ禍で生活が変わり、子供もできて家族と一緒にいる時間をもっと持ちたいと考えるようになったんだ。そして、違う形でウィンドサーフィンが続けたいと思って引退を決めたんだよ。今自分の決断に後悔はない。最後に日本で引退できることを嬉しく思っている」と後悔はなさそうだ。そして日本にはクリニックやロングディスタンスなどのイベントで、自身の豊富な経験や知識を伝えに、必ず再び戻ってくると約束してくれた。



ANTOINE ALBEAU (F-192)

Age: 50 / France / Boards: JP/Sails: NeilPryde

Topics #1

from Cyprus
reported by DAISUKE KANAGAMI

OPAP TECHNO293 2022 WORLD CHAMPIONSHIPS

Date: Oct 28 - Nov 5 2022 Location: LIMASSOL, CYPRUS

小山田柁平がテクノワールド UI7 クラスで3位!! テクノプラスクラスは日本人が上位独占

柁平にとっては、2年越しの挑戦である。本当なら、昨年このワールドの舞台に立つはずだったが、世界的に広がった新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、日本からの選手派遣が



取りやめとなり、世界への挑戦は断念せざるを得なかったのだ。

初めての海外遠征は地中海に浮かぶキプロス島。その胸中はドキドキなのかワクワクなのかいつもポーカークフェイスな柁平の表情からは読み取りにくい、「目標は入賞」と言ったときの眼差しには強い意志を感じた。

果たして7レースを戦い表彰台に乗った。目標を達成した嬉しさとともに、風が上がったときの艇速に課題を感じたようだ。課題を克服し、次は今回果



小山田 柁平 (おやまだ しゅうへい)
2007年12月28日生まれ/神奈川県出身
所属:鎌倉Jrウインドサーフィングクラブ
小2でウインドを始め、鎌倉で仲間と腕を磨き、数々のレースに参戦。伊勢湾カップ2022でU-15クラス1位。

たせなかったトップフィニッシュを決めてくれるに違いない。

テクノプラスクラスでは学連の選手が上位を独占。男子は倉鹿野巧(神奈川県)、女子は北原史野(京都大学)が優勝した。



各クラスのリザルトはこちら▶▶

Topics #2

from JWA
reported by TADANORI NAKAI

プロへの登竜門!! 全日本アマチュアスラローム選手権、今年も開催

12月、津久井浜。またこの季節が近づいてきた。「全日本アマチュアスラローム」毎年恒例イベントである。スペシャルクラス、オープンAクラス、オープンBクラス、ビギナークラスと豊富なクラスからレベルに合わせて出場できるため、毎年多くの選手で賑わっている。さらに今年からfoilクラスが新設。誰が第1回アマチュア foil チャンプになるのだろうか?

運営は主にスラロームのプロ選手で行われ、さまざまなメーカーがブースを出しているの、気になっていることやウインドの悩みなど、プロ選手に質問してみたり、メーカーにセッティングのコ

ツを聞くチャンスでもある!

そして、1番の目玉はプロ資格がかかるスペシャルクラス。1年間の成果を發揮し、2日間で結果を出さなければならない。しかし、それをさせまいと、ベテランが立ちはだかり、プロを目指す若手を跳ね返すこともしばしば。プロは、1年に一度のこの大会で結果を出さなくてはいけない狭き門なのだ。昨年は田嶋選手、佐伯選手が見事優勝しプロ登録した。今年は先輩達の壁を突き破る若手が現れるの



か? 第3者である私は楽しみでしかない。

さらに前回好評だったキッチンカーが今年も出店予定。海で美味しいランチを楽しみながら、スペシャルクラスの壮絶なバトルを観戦するなんてこともできる! 一石二鳥どころじゃないこの大会に、ぜひ仲間と参加してみたいだろうか。

Topics #3

from KAMAKURA
reported by AKIRA KUDO

日本のスラローム界に革新を 工藤輝が拠点をヨーロッパに移して世界へ挑戦します!

ここ数年、日本から世界に挑戦する選手が増えてきました。特にウエイブの若手の活躍は著しく、世界トップクラスに位置していると思います。

一方、僕が競技しているスラローム種目では世界に出ていくような選手はなかなか輩出できていない現実があります。こうした現状を少しでも改善していくために、この度クラウドファンディングという資金調達プロジェクトを行うことで活動拠点をヨーロッパへ移し、世

界と闘う環境を作るチャレンジをさせていただきました。そして4週間というプロジェクト期間の中で200人近いご支援者と300万円を超えるご支援金を集めることができました。

この場を借りてこのプロジェクトに参加していただいた皆様、そして変わらず応援してくれている皆様、これから応援してくれる皆様に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



選手として、自身をここまで成長させてくれた日本のウインドサーファーの皆様が良い報告ができるよう精一杯頑張ります。 JPN-9 工藤 輝

Topics #4

from Siga
reported by MINORU ISEDA

高校の授業でウインドサーフィン。 琵琶湖ですでに30年の実績



30年程前に京都府の高校6校の合同遠泳をウインドサーフィンの授業に変えて以来ずっと続いている。私がこの講

習を通じて教え伝えたい事は、陸上と水上の違い、そして風で水上を走る楽し

さです。講習後は自己分析してもらいクラブ活動等に活かしてもらっています。

今では、先生方からも高い評価を頂き、生徒たちの笑顔にやりがいを感じています。



伊勢田 稔 (イセダ ミノル)
1972年5月8日生
ビワコマリンスポーツクラブ代表
びわこ成蹊スポーツ大学 非常勤講師
今から37年前、ウインドサーフィンのスクール&クラブを経営したくて、脱サラして茅ヶ崎から琵琶湖に移り住む。リオデジャネイロ五輪代表の伊勢田愛さんを娘に持つ。

次の夢は、高校にクラブを作ってインターハイ。オリンピック選手を育てた経験もあり、これからはジュニアやユースの選手を育成し、世界に通用する選手を琵琶湖から排出したい。

Topics #5

from JWA
reported by MIE TOYOOKA

バッジテストのススメ!

スキーに検定があるように、ウインドサーフィンにも「バッジテスト」(検定)があるのをご存知でしょうか?

自分の技能レベルを知ること、次のステップへの向上心や目標を持ってウ

インドサーフィンを楽しむことができます。例えば、ウインドに乗って100m進めたら5級。方向転換ができるようになったら4級...と、レベルに合わせた級の取得ができるのです。

さあ、あなたもチャレンジしてみませんか? 詳しくはQRコードで、日本ウ

インドサーフィン協会(JWA)のホームページから!

【問い合わせ先】
JWA 資格指導委員会
shikaku_ml@jw-a.org
※お問合せはメールをお願いします

詳しくはこちら▶▶





1 左から新嶋、三木夫妻、山田さん、オクマの小川さん、糸満盛司さん (中央)、2,3,4 オクマスタッフ竹内さん、松下さん、新垣チャリーさん、5 東海大学ウインドサーフィン部の先輩後輩、藤田さん、近藤さん

編集後記

vol.2 いかがだったでしょうか？ 7月から準備を始めてやっとできました。お手伝いいただいた皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

今回は沖縄に取材に行きました。同行してお手伝いいただいた学連2代目委員長の山田琢二さん(左)元プロで現在はNACK5でDJしているリョーツさん(右) 珍道中ありがとうございました。



そして小川さん、島袋さんを始めあたたかく迎えてくれた沖縄の皆さん(上部写真)ありがとうございました。

また、今回ご協賛いただきました、ユナイテッド航空様、オクマプライベートビーチ&リゾート様、柳屋本店様、ウインドサーフィンジャパン様、この場を借りて御礼申し上げます。

NPO チャレンジスポーツクラブ
理事長 新嶋光晴

情報提供のお願い

今号より、『ウインドサーファターの履歴書』というコーナーをスタートさせました。ウインドを始めて人生が変わったという人、風まかせの人生を送っている楽しそうな人をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。また、全国に発信すべきグレンデ情報、イベント情報などがございましたらこちらでも情報提供をお願いいたします。さらにウインド YouTuber を紹介する企画を考えています。紹介しても構わないという方は、チャンネルの情報を添えてご連絡ください。

情報提供はこちらまで▶▶ windnetwork.info@gmail.com

※いずれの情報提供も編集部で掲載の可否は判断させていただきます。

WindNETWORK vol.02

協賛 ユナイテッド航空

オクマ プライベートビーチ & リゾート

株式会社柳屋本店様

株式会社ウインドサーフィンジャパン様

2022年12月1日発行

発行元 特定非営利活動法人チャレンジスポーツクラブ

〒248-0013 神奈川県鎌倉市材木座 6-16-35

TEL : 0467-24-6828 mail : windnetwork.info@gmail.com

ALL RIGHT RESERVED

© NPO CHALLENGE SPORTS CLUB 2022

STAFF

PUBLISHER

新嶋光晴

EDITOR

GAMI

SPECIAL THANKS

三木 英樹

三木 愛子

根岸 聡

山田 琢二

斎藤 リョーツ

脇元 裕二

豊岡 美枝

メルセン バス

内海 隆

生駒 大輔

吉武 雅博

白方 優史

国枝 信哉

金上 颯大

大石 隆太郎

糸満 盛司

小林 大悟

水野 聖玲奈

オクマスタッフの皆様

PWA

JWA

(株)マニューバーライン

PHOTOGRAPHERS

杉 純太郎

杉 桂子

奥田 順一

外園 潤平

※敬称略



4711
Portugal

国内総代理店 株式会社柳屋本店お客様相談室 TEL.03-3808-2654

永井博氏の作画メイキング *Making of 4711 Portugal* by HIROSHI NAGAI WEBで公開中!





ユナイテッド航空 成田 - サイパン線 2022年9月1日就航

自然豊かな島サイパンで、のんびり過ごしませんか？
ゴルフやダイビング、ウィンドサーフィンなどスポーツも楽しめます。

路線	便名	出発	到着	運航日	機材
成田ーサイパン	UA825	21:25	2:00 (翌日着)	火・木・日	737-800
サイパンー成田	UA824	7:00	9:35	月・水・金	737-800

